



## 祝 辞

与那国町長 外間 守吉

桜の季節もいつしか過ぎ、葉桜の季節となり初夏の気配も感じるこの頃、こちら八重山はうららかなうりずんの季節となりました。郷友会の皆様におかれましては、お変わりなくご健勝でお過ごしのこととお喜び申し上げます。本日ここに、東京八重山郷友連合会の皆様が集い、第18回「東京八重山まつり」が開催されるにあたり、郷友のみなさまとともに心から喜びを分かち合いたいと思います。

今日まで遠く離れた地で、「八重山はひとつ」を合言葉に、互いに協力され八重山文化を継承されておられる郷友の皆様にも、深く敬意を表します。また、島内外に住む者は、皆、「生まれ島」を思う心がひとつであることに、八重山人としての誇りを感じる次第であります。

八重山各地の郷友会をとりまとめ早18年の月日が経とうとしています。当連合会が郷友の皆様への心のよりどころの一つとして役割をはたしてきたことは改めて申し上げるまでもないことですが、その間、いかに会員同志が強く結ばれ、かつ、力強い団結をもって歩んでこられたかを物語るものでありまして、歴代会長をはじめ会員の皆様のご尽力に対し、深く敬意を表するしだいでもあります。

さまざまな活動を続けられ、現在では石垣、竹富、与那国の「八重山は一つ」として確固たる基盤を築き上げてこられたことは、同時に各人が異郷の地において生活基盤を確立しなければならぬ大変なご苦労があったものと拝察いたします。その中で、心を寄せ合い、お互いの拠り所として互助の役割を果たした郷友会、連合会の存在は、八重山の人が持つ「ゆい」の心の表れであると信じております。

さて、新空港ができて早5年、この間八重山観光は国内外から注目され、八重山地域を訪れるお客様の数は順調な伸びを示しております。そして、今年3月には天皇・皇后両陛下の行幸啓による与那国島ご訪問に際し、私たち島民一丸となってお出迎えできましたことは大変名誉なことで、与那国を自然を守り、伝統の息づく綺麗な島と感じてくださったようで、そのことを大変嬉しく、誇らしく思っております。

結びに、関係者皆様のご多大なるご尽力に改めて敬意を表しますとともに、第18回東京八重山まつりの成功、並びに東京八重山郷友連合会の益々のご発展を心から祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。